

安城市市民アンケート調査報告書 (概要版)

令和 6 年 3 月

I . 調査概要

1 調査の目的

安城市では、平成28年度から第8次安城市総合計画*のもと、目指す都市像「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けた取り組みを進めています。令和2年度からは、後期計画となるケンサチ2.0のもと、「健幸（ケンサチ）」のまちづくりは、SDGsの推進に資するものと考え、「ケンサチはSDGs」をスローガンとし、公民連携のまちづくりを推進しています。

*計画期間：平成28年度から令和5年度まで（8年間）

＜総合計画とは？＞

総合計画とは、安城市のまちづくりを進める上で一番重要な基本となる計画で、市が目指すまちづくりの方向や、それを実現するために取り組むべきことを定めた計画です。



第8次総合計画は、「幸せつながる健幸都市 安城」をテーマに、次の5つの施策分野の目標とするまちの姿を掲げ、具体的な施策や事業を推進しています。

＜目標とするまちの姿＞	
「健康」	生涯にわたり心身ともに健康にすごせるまち
「環境」	くらしの質を高める持続可能なまち
「経済」	地域の魅力、潤いと活力あふれるまち
「きずな」	人々が優しくつながり、支え合う安全安心なまち
「こども」	子どもたちを社会で豊かに育むまち

「第8次安城市総合計画」は市公式ウェブサイトで見ることができます。

市公式ウェブサイト URL <http://www.city.anjo.aichi.jp/>



つながる。かなえる。安城
健幸〈ケンサチ〉のまち、安城

本調査は、市の取組みに対する市民意識を調査することで、第8次安城市総合計画の進捗状況を把握するとともに、現在抱える問題や課題を洗い出し、総合計画の最終年である令和5年度の目標値達成状況を検証し、第9次安城市総合計画策定にあたり活用することを目的とします。

2 調査対象及び調査方法

- 調査地域 安城市全域
- 調査対象 市内在住の18歳以上の市民
- 標本数 3,000人
- 抽出方法 無作為抽出法
- 調査方法 郵送による配布、回収、ウェブサイトによる回答
- 調査期間 令和5年8月2日（水）～8月17日（木）

3 調査票の回収状況

- 配布数 3,000件
- 回収数 1,143件
- 回収率 38.1%
- 有効回答数 1,142件
- 有効回収率 38.1%

※回収数は無効回答（WEB回答とアンケート用紙回答が重複したもの等）を含めた回収数。

有効回答数は無効回答を除いた回収数。

4 調査項目

- 調査項目
 1. 調査対象者（回答者）の属性
 2. 安城市の住みやすさについて
 3. これまでの安城市の取組みに対する満足度
 4. 今後、安城市が取り組むことの重要性
 5. 日常生活について

Ⅱ．調査結果（抜粋）

1 住みやすさについて

1. 住みやすさ

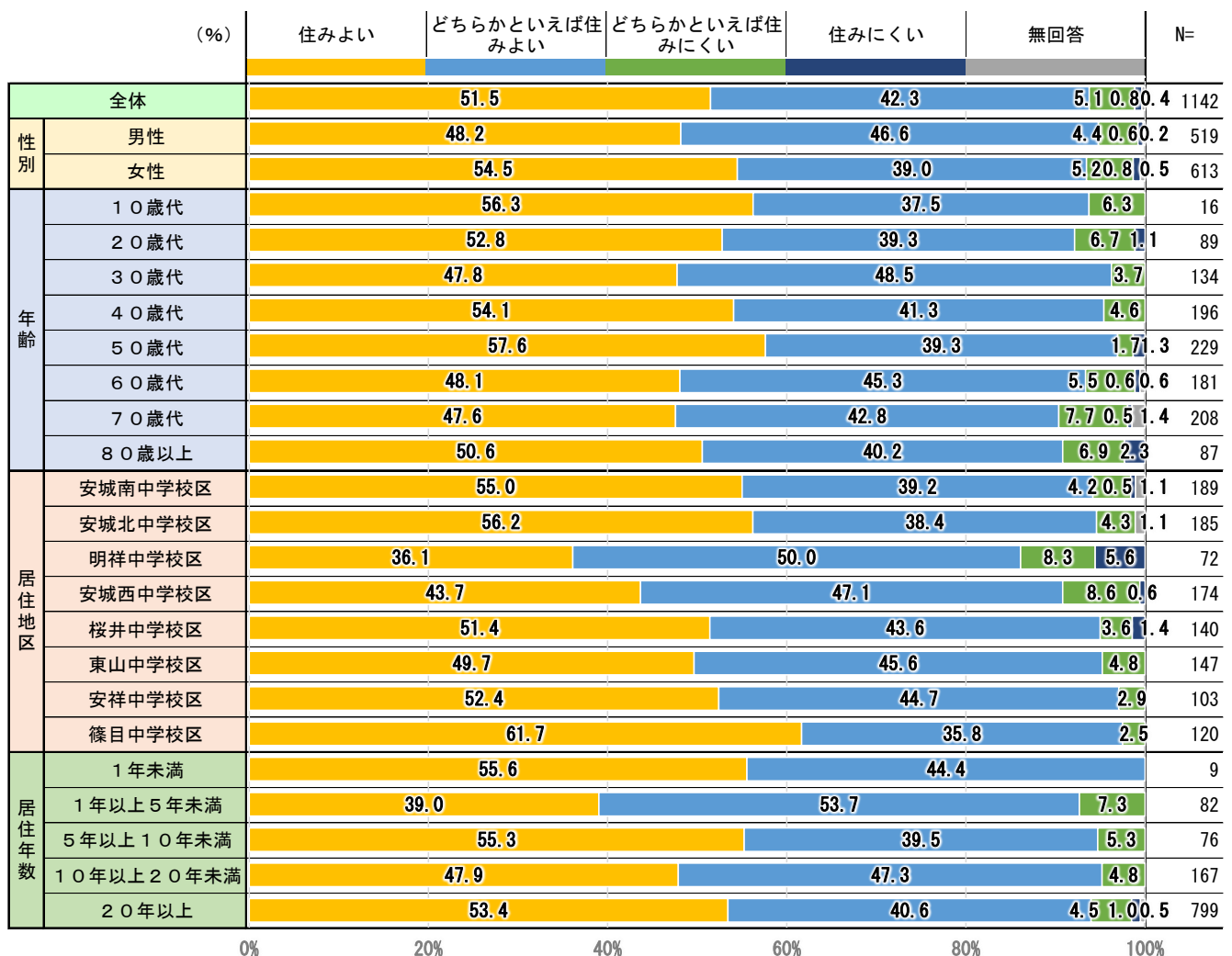
問2 安城市の住みやすさについて、お答えください。（あてはまるもの1つに○）

安城市の住みやすさについて、全体でみると、「住みよい」が51.5%と最も高く、次いで「どちらかといえば住みよい」が42.3%と9割以上（93.8%）の人が“住みやすい”（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）としています。一方、“住みにくい”（「住みにくい」＋「どちらかといえば住みにくい」）とした人は5.9%と1割未満となっています。

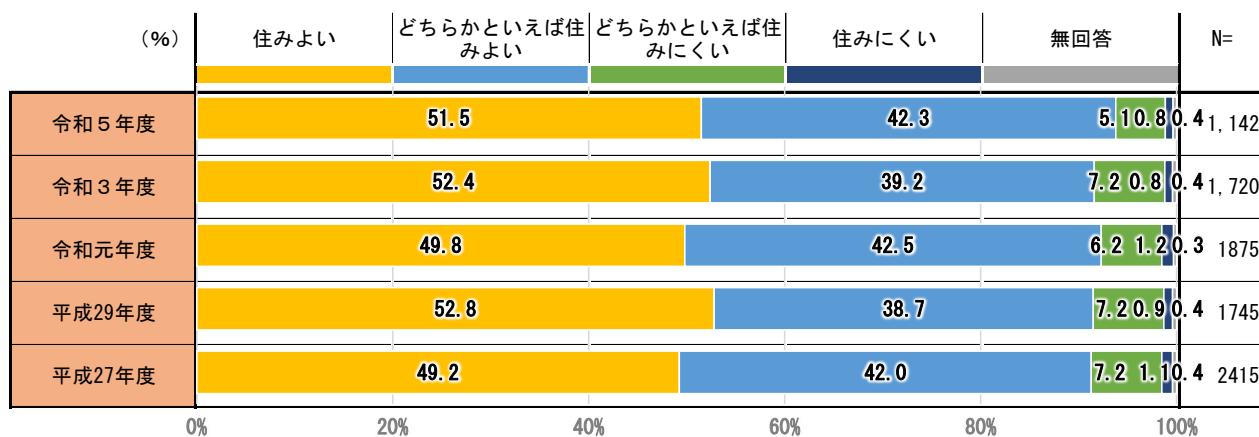
性別で見ると、“住みやすい”とした人は、男性では94.8%、女性では93.5%となっています。

年齢別でみると、全年代で90%以上が“住みやすい”と感じており、中でも50歳代が96.9%、30歳代が96.3%と高くなっています。

居住地区別でみると、「住みよい」とした人の割合は、篠目中学校区が61.7%と最も高く、次いで安城北中学校区（56.2%）、安城南中学校区（55.0%）となっています。明祥中学校区では、「住みよい」とした人の割合が36.1%と他の中学校区と比べて低く、「住みにくい」とした人の割合が5.6%と他の中学校区と比べて高くなっています。



過去に実施した調査と比較すると、“住みやすい”と答えた人の割合は、平成 27 年度が 91.2%、平成 29 年度 91.5%、令和元年度 92.3%、令和 3 年度 91.6%、令和 5 年度 93.8%と少しずつ増えています。



※平成27年度に実施された調査では調査票を6000通配布

2. 住みにくい理由

問3 問2で「3 どちらかといえば住みにくい」または、「4 住みにくい」と回答した人におたずねします。住みにくいと思う点について、お答えください。(あてはまるもの2つに○)

住みにくい理由について、全体でみると、「交通の便が悪い」が55.2%で最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」(32.8%)、「物価が高い」(13.4%)、「騒音、大気汚染など生活環境が悪い」(11.9%)の順となっています。

性別で見ると、男女ともに「交通の便が悪い」が最も高く、次いで「日常の買い物が不便である」となっています。「物価が高い」については、男性が7.7%、女性が18.9%で、男性より女性が11.2ポイント高くなっています。

年齢別では30歳代以外の年齢層で「交通の便が悪い」が最も高くなっています。30歳代では「物価が高い」が最も高くなっています。60歳代では「日常の買い物が不便である」が63.6%と他の年代に比べて高くなっています。

居住地区別では、「交通の便が悪い」について、安城南中学校区では22.2%、安城北中学校区25.0%となっていますが、明祥中学校区と安祥中学校区では100%と高くなっています。明祥中学校区では「日常の買い物が不便である」は70.0%と高くなっています。

居住年数別でみると、「交通の便が悪い」とした人の割合は5年以上10年未満が75.0%と最も高く、次いで20年以上が65.9%と高くなっています。1年以上5年未満では他の年数に比べて、「騒音、大気汚染など生活環境が悪い」(33.3%)、「物価が高い」(33.3%)が高くなっています。5年以上10年未満では他の年数に比べて、「交通の便が悪い」(75.0%)、「日常の買い物が不便である」(50.0%)が高くなっています。

(%)

		N (人)	交通の便が悪い	騒音、大気汚染など生活環境が悪い	文化、スポーツ施設、教養施設が少ない	緑地、公園、広場などが少ない	地域の連帯感が希薄である	日常の買い物が不便である	娯楽施設が少ない	教育、保育施設が少ない	福祉、医療施設が少ない	物価が高い	その他	無回答
全体		67	55.2	11.9	9.0	9.0	9.0	32.8	9.0	1.5	1.5	13.4	6.0	14.9
性別	男性	26	53.8	15.4	15.4	15.4	15.4	34.6				7.7	3.8	15.4
	女性	37	59.5	10.8	5.4	5.4	5.4	35.1	13.5	2.7	2.7	18.9	5.4	10.8
年齢	10歳代	1	100.0									100.0		
	20歳代	7	57.1	14.3	14.3	14.3		28.6	28.6			14.3		14.3
	30歳代	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0		40.0		
	40歳代	9	66.7		11.1	11.1		33.3	11.1			11.1	22.2	11.1
	50歳代	7	71.4		14.3			28.6	14.3			14.3	14.3	14.3
	60歳代	11	63.6	18.2				63.6				9.1		9.1
	70歳代	17	47.1	17.6	5.9	17.6	23.5	23.5			5.9	5.9	5.9	17.6
	80歳以上	8	50.0	12.5	12.5		12.5	37.5				12.5		25.0
居住地区	安城南中学校区	9	22.2	11.1	11.1	22.2	22.2	22.2	11.1			22.2	11.1	11.1
	安城北中学校区	8	25.0	12.5	12.5	25.0		50.0	12.5					25.0
	明祥中学校区	10	100.0	10.0			10.0	70.0					10.0	
	安城西中学校区	16	62.5	12.5	6.3		6.3	18.8	6.3			18.8		25.0
	桜井中学校区	7	57.1	28.6				28.6	14.3			28.6	14.3	
	東山中学校区	7	57.1	14.3	28.6	14.3	28.6	28.6				14.3	14.3	
	安祥中学校区	3	100.0					33.3	33.3		33.3			
	篠目中学校区	3	33.3		33.3	33.3		33.3		33.3		33.3		
居住年数	1年未満													
	1年以上5年未満	6	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7			33.3		16.7
	5年以上10年未満	4	75.0					50.0	25.0					25.0
	10年以上20年未満	8	37.5	25.0	12.5	12.5		25.0	12.5			12.5	12.5	12.5
	20年以上	44	65.9	9.1	9.1	6.8	11.4	38.6	2.3	2.3	2.3	13.6	6.8	9.1

＜「その他」の回答＞(12件)

- コンビニ、スーパーがない。
- 公園、広場が遠い。
- 道路など危険なところがいくつかある。安全面。 等

過去に実施した調査と比較すると、令和３年度調査と比べて、娯楽施設が少ない（－10.0）、日常の買い物が不便である（－6.6）、交通の便が悪い（－6.1）、福祉、医療施設が少ない（－5.8）が減少しています。物価が高い（＋3.9）、騒音、大気汚染など生活環境が悪い（＋0.2）については増加しています。

(%)

	N (人)	交通の 便が悪い	騒音、大 気汚染な ど生活環 境が悪い	文化、ス ポーツ施 設が少な い	緑地、公 園、広場 などが少 ない	地域の連 帯感が希 薄である	日常の買 い物が不 便である	娯楽施設 が少ない	教育、保 育施設が 少ない	福祉、医 療施設が 少ない	物価が高 い	その他	無回答
令和５年度	67	55.2	11.9	9.0	9.0	9.0	32.8	9.0	1.5	1.5	13.4	6.0	14.9
令和３年度	137	61.3	11.7	13.1	10.9	10.9	39.4	19.0	3.6	7.3	9.5	2.2	0.7
令和元年度	201	61.7	16.4	11.4	12.4	11.9	38.3	15.9	9.5	7.5	13.4	5.0	3.0
平成29年度	252	53.8	22.5	6.3	14.2	22.9	26.5	10.7	6.3	5.1	6.7	3.6	2.4
平成27年度	201	61.7	11.9	11.4	13.4	12.4	38.3	15.9	5.0	9.5	7.5	16.4	3.0

※平成27年度に実施された調査では調査票を6000通配布

2 安城市の取組みについての評価

1. 評価分析方法

安城市の取組みの満足度・重要度について、「健康」「環境」「経済」「きずな」「こども」に「行財政運営」を加えた6分野24項目に対して、以下の表のように評価得点をつけ、満足度および重要度の評価平均得点を算出しました。ここでは、“満足”（「非常に満足」、「満足」、「やや満足」）や“重要”（「非常に重要である」、「重要である」、「まあ重要である」）というプラス要素に、“不満”（「非常に不満」、「不満」、「やや不満」）や“重要でない”（「全く重要でない」、「重要でない」、「あまり重要でない」）というマイナス要素を加味し、各施策に対する相対的な評価を行いました。

①評価得点

満足度	得点
非常に満足	3
満足	2
やや満足	1
やや不満	-1
不満	-2
非常に不満	-3

重要度	得点
非常に重要	3
重要	2
まあ重要	1
あまり重要でない	-1
重要でない	-2
全く重要でない	-3

②評価平均得点の算出方法

1人1項目あたりの評価得点分析は、+3～-3の範囲となり、この評価得点全体の平均を算出し、それぞれの評価の指標としました。

算出された評価平均得点は+3に近いほど満足（重要）であることを表し、-3に近いほど不満（重要でない）であることを表しています。

<満足度評価平均得点の算出式>

$$\frac{\text{「非常に満足」} \times 3 + \text{「満足」} \times 2 + \text{「やや満足」} \times 1 + \text{「やや不満」} \times (-1) + \text{「不満」} \times (-2) + \text{「非常に不満」} \times (-3)}{\text{「わからない」・「無回答」を除く有効回答者数}}$$

※重要度についても「」内を置き換えて算出

2. 満足度

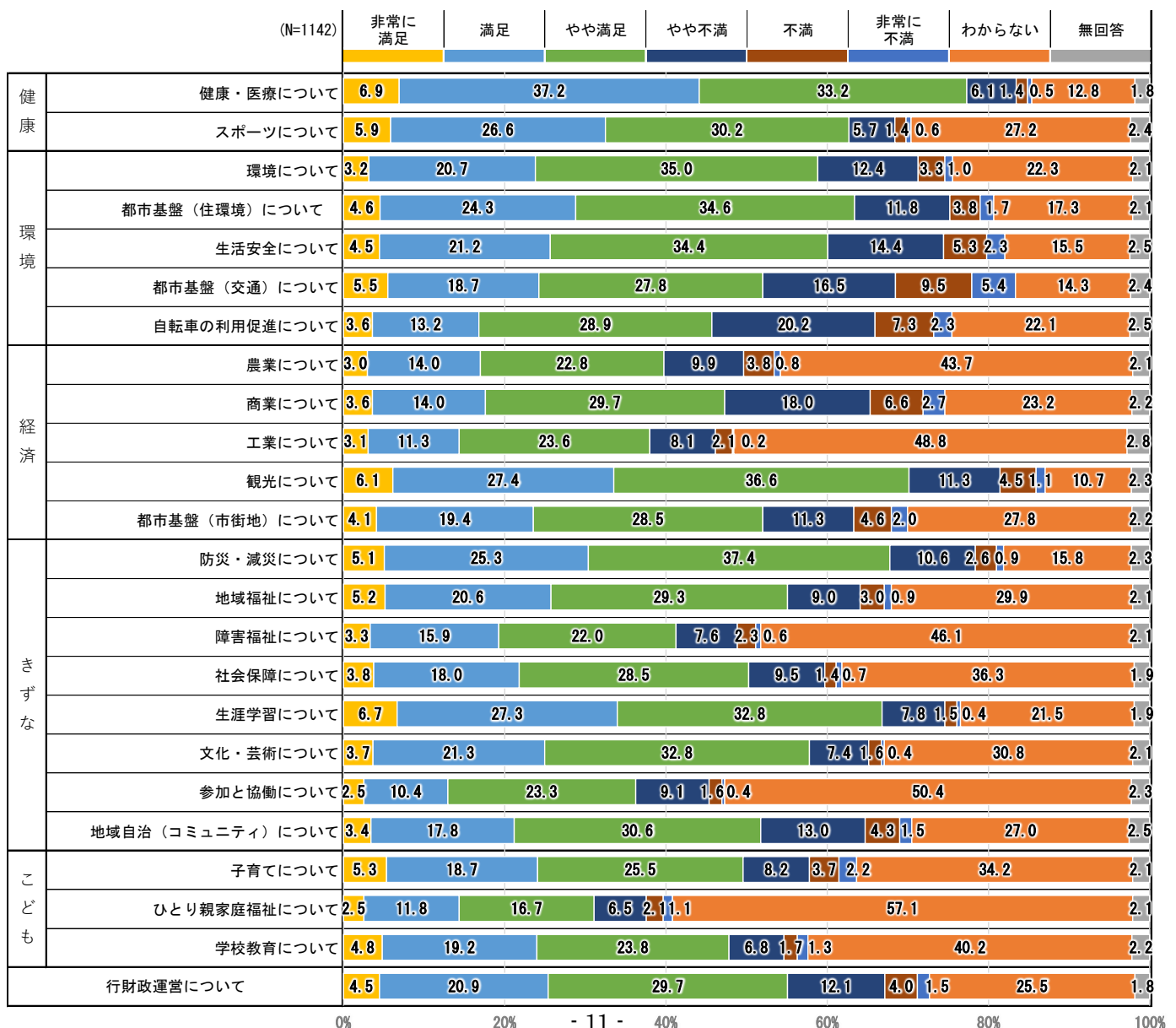
次の事項（問４～問２７）に対する安城市の取り組みについて、あなたの評価をしてください。
 ア【満足度】これまでの安城市の取り組みについて、どれくらい満足していますか。
 それぞれ１～７のいずれか１つに○を付けてください。

１）全体評価

＜満足度の割合＞

項目別に満足度の割合をみると、“満足”（「非常に満足」＋「満足」＋「やや満足」）が最も高い項目は「健康・医療について」（77.3%）となっています。次いで、「観光について」（70.1%）、
 「防災・減災について」（67.8%）の順となっています。

一方“不満”（「非常に不満」＋「不満」＋「やや不満」）が最も高い項目は、「都市基盤（交通）について」（31.3%）であり、次いで「自転車の利用促進について」（29.8%）、「商業について」（27.3%）となっています。



＜評価平均得点＞

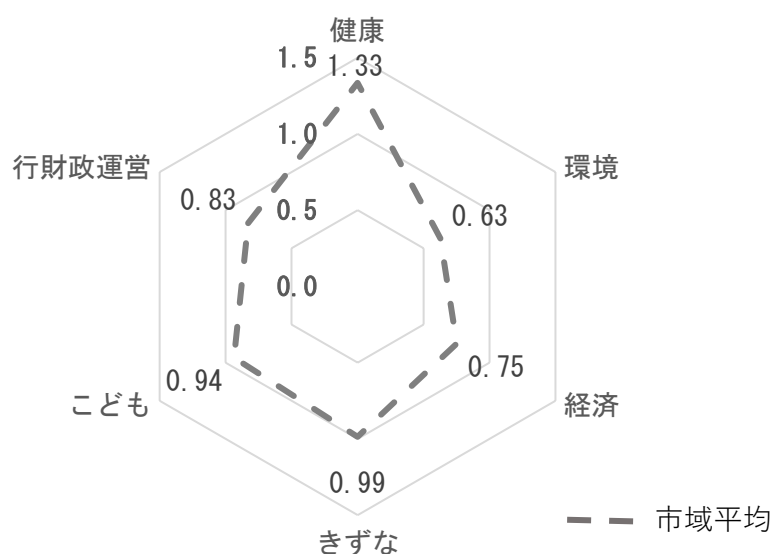
安城市の取組みにおける満足度の評価平均得点の平均値は 0.88 となっています。

分野別では、「健康」が 1.33 と最も高く、次いで「きずな」が 0.99、「こども」が 0.94 となっています。

項目別にみると 24 項目すべての項目において満足度がプラスになっており、満足度の高い項目から順に「健康・医療について」(1.38)、「スポーツについて」(1.29)、「生涯学習について」(1.25)、「文化・芸術について」(1.12)、「学校教育について」(1.09) となっています。

一方で満足度が低い項目から順に「自転車の利用促進について」(0.32)、「都市基盤（交通）について」(0.36)、「商業について」(0.39)、「地域自治（コミュニティ）について」(0.71)、「生活安全について」(0.71) となっています。

	全体平均	健康	環境	経済	きずな	こども	行財政運営
満足度評価平均得点	0.88	1.33	0.63	0.75	0.99	0.94	0.83



		0.0	0.5	1.0	1.5
健康	健康・医療について				1.38
	スポーツについて				1.29
環境	環境について			0.84	
	都市基盤（住環境）について			0.90	
	生活安全について			0.71	
	都市基盤（交通）について		0.36		
	自転車の利用促進について		0.32		
経済	農業について			0.74	
	商業について		0.39		
	工業について			0.88	
	観光について			0.99	
	都市基盤（市街地）について			0.76	
きずな	防災・減災について			1.04	
	地域福祉について			1.01	
	障害福祉について			0.96	
	社会保障について			0.99	
	生涯学習について			1.25	
	文化・芸術について			1.12	
	参加と協働について			0.81	
	地域自治（コミュニティ）について			0.71	
こども	子育てについて			0.89	
	ひとり親家庭福祉について			0.83	
	学校教育について			1.09	
	行財政運営について			0.83	

3. 重要度

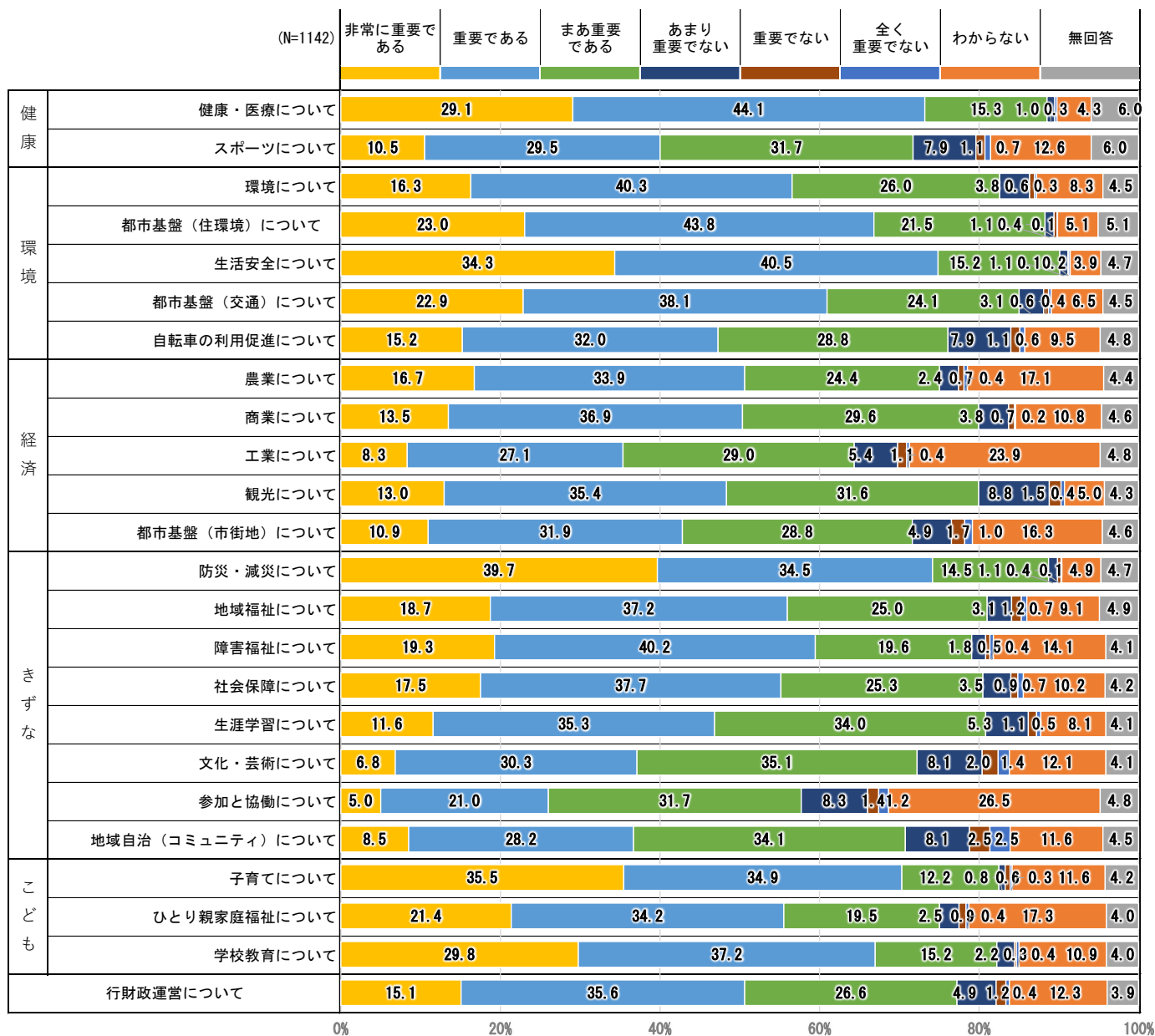
次の事項（問４～問２７）に対する安城市の取り組みについて、あなたの評価をしてください。
イ【重要度】今後、安城市がこれらに取り組むことはどれくらい重要だとお考えですか。
それぞれ１～７のいずれか１つに○を付けてください。

１）全体評価

＜重要度の割合＞

項目別に重要度の割合をみると、“重要”（「非常に重要である」＋「重要である」＋「まあ重要である」）が最も高い項目は「生活安全について」（90.0％）となっています。次いで、「防災・減災について」（88.7％）、「健康・医療について」（88.5％）の順となっています。

一方“重要でない”（「全く重要でない」＋「重要でない」＋「あまり重要でない」）が最も高い項目は、「地域自治（コミュニティ）について」（13.1％）となっています。次いで「文化・芸術について」（11.5％）、「参加と協働について」（10.9％）の順となっています。



＜評価平均得点＞

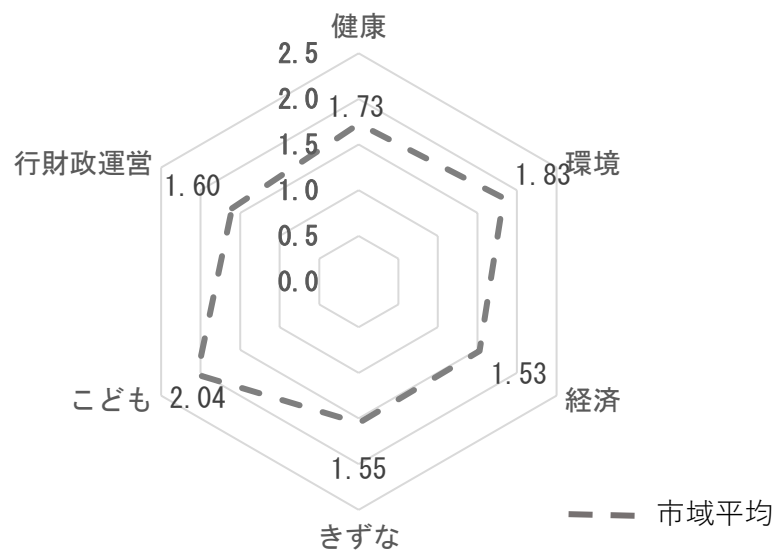
安城市の今後の取組みにおける重要度の評価平均得点の平均値は 1.68 となっています。

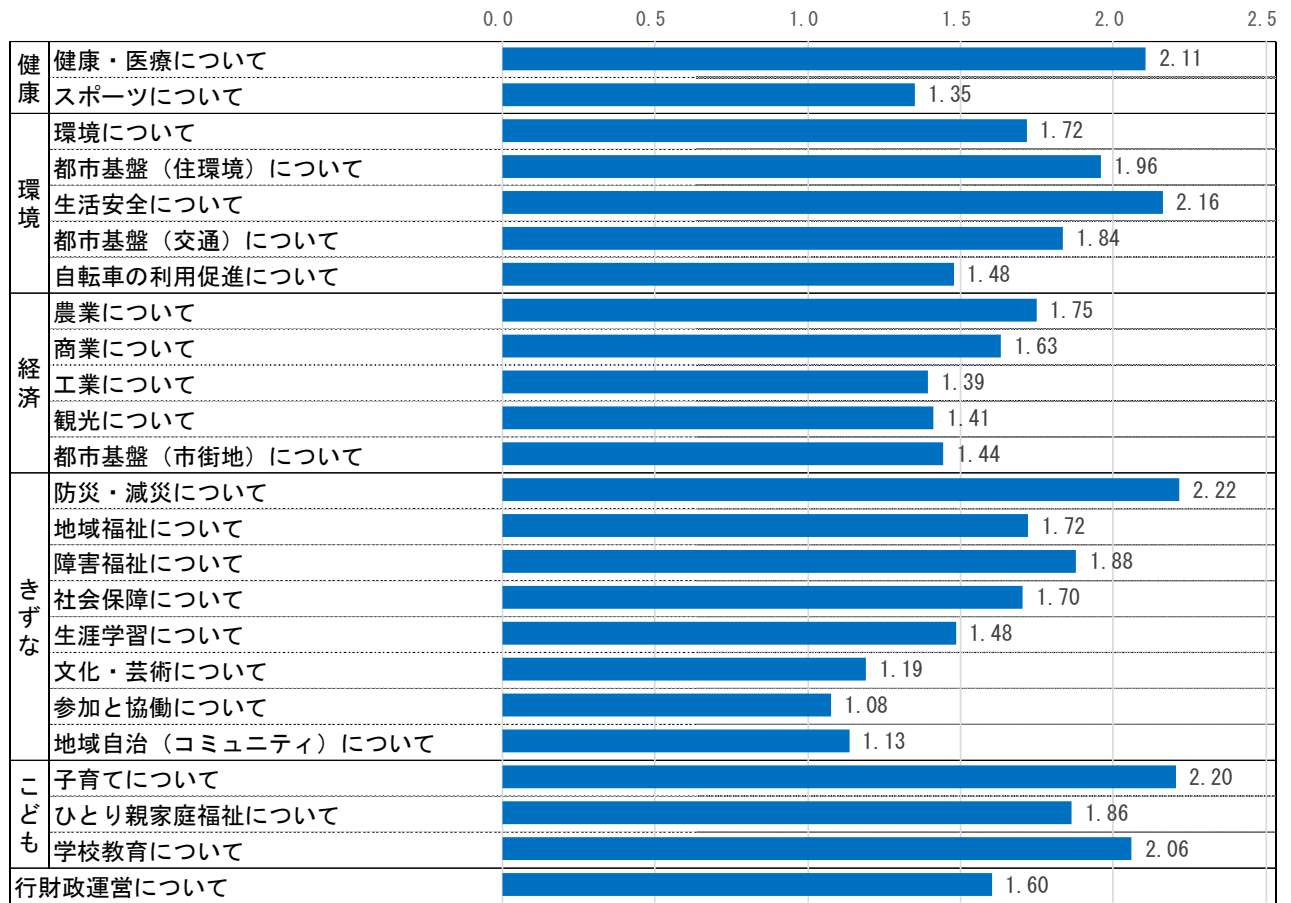
分野別でみると、「こども」が 2.04 と最も高く、次いで「環境」が 1.83、「健康」が 1.73 となっています。

項目別にみると「防災・減災について」が最も高く 2.22、次いで「子育てについて」(2.20)、「生活安全について」(2.16)、「健康・医療について」(2.11)、「学校教育について」(2.06) となっています。

一方で重要度の低い項目から順に「参加と協働について」(1.08)、「地域自治（コミュニティ）について」(1.13)、「文化・芸術について」(1.19)、「スポーツについて」(1.35)、「工業について」(1.39) となっています。

	全体平均	健康	環境	経済	きずな	こども	行財政運営
重要評価平均得点	1.68	1.73	1.83	1.53	1.55	2.04	1.60





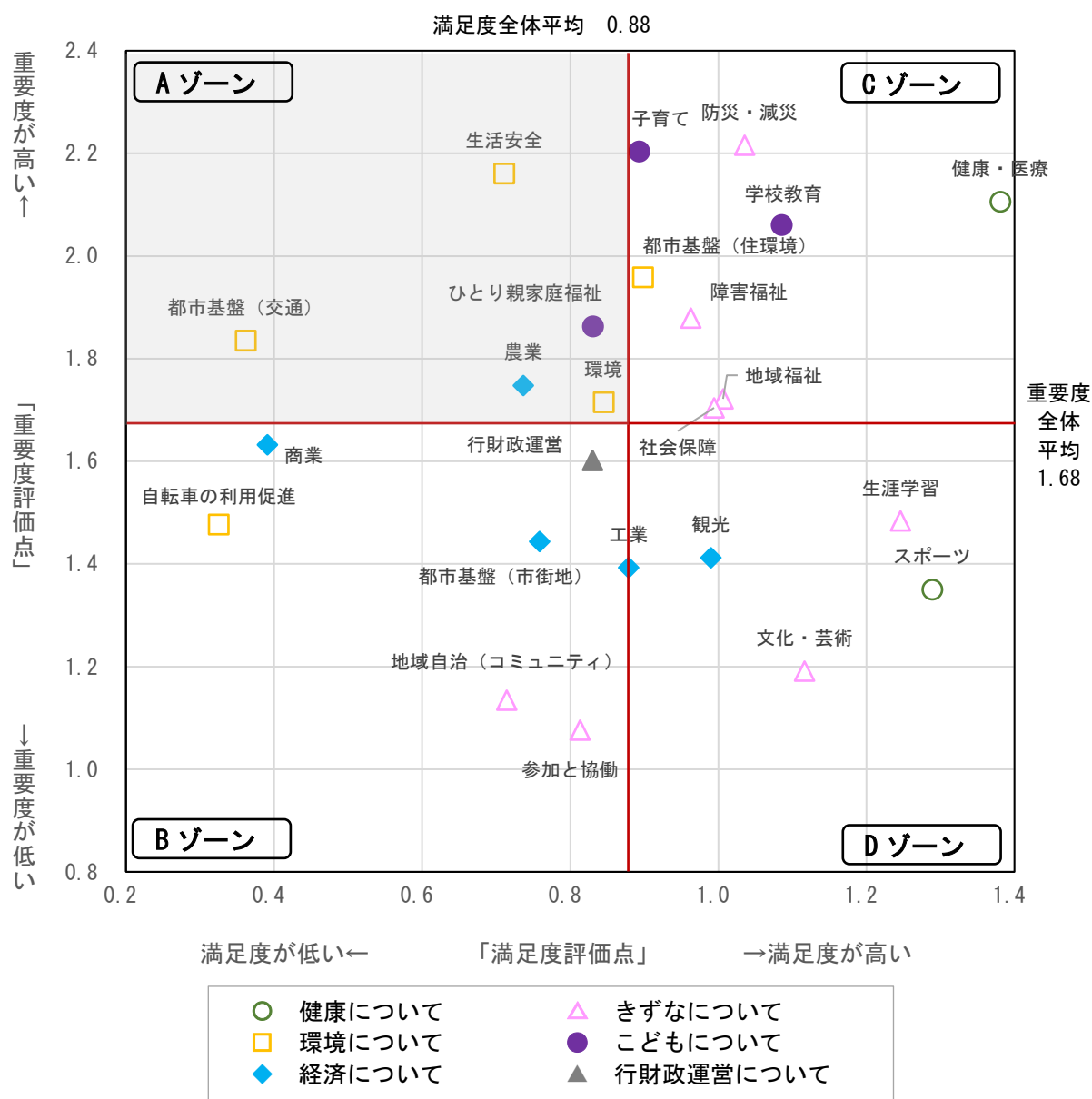
4. 満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係分布

満足度を横軸に、重要度を縦軸にとって、6分野24項目の満足度評価平均得点と重要度評価平均得点の関係を分布図にしたものが下図です。

満足度評価の平均得点は、0.32 から 1.38 の範囲にあり、平均値 0.88 です。また重要度評価の平均得点は、1.08 から 2.22 の範囲にあり、平均値は 1.68 です。

網掛け部分の「A ゾーン」に位置する施策項目は、《施策の必要性が十分認識され、かつ今後の取組みのさらなる推進や改善に対する市民のニーズ（期待）が高い施策項目》を示しています。

今回の調査では、今後優先的に取組むべき施策項目として、「生活安全について」、「都市基盤（交通）」について、「ひとり親家庭福祉について」、「農業について」、「環境について」の5項目が該当しています。



【A ゾーン】 満足度：平均値より低い 重要度：平均値より高い	グラフ左上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識されているものの、取組みに対する満足度が低く、市民が最も充実を求めていると考えられます。そのため従来の取組みに改善を加え、さらなる充実を図る必要性があります。
【B ゾーン】 満足度：平均値より低い 重要度：平均値より低い	グラフ左下に位置する取組みは、施策の必要性の認識が低く、取組みに対する満足度も低いと考えられます。そのため施策の重要性に対する理解を高めるとともに、取組みの見直しや方向性などを十分検討し、満足度を上げていく必要があります。
【C ゾーン】 満足度：平均値より高い 重要度：平均値より高い	グラフ右上に位置する取組みは、施策の必要性が十分認識され、その取組みにも満足されていると考えられます。今後も現在の水準を維持するため、着実な取組みが求められます。
【D ゾーン】 満足度：平均値より高い 重要度：平均値より低い	グラフ右下に位置する取組みは、施策の必要性の認識は低く、取組みには満足されていると考えられるため、今後も現状どおりの着実な取組みが求められます。

分類	項目	満足度評価点	重要度評価点
健康	健康・医療について	1.38	2.11
	スポーツについて	1.29	1.35
環境	環境について	0.84	1.72
	都市基盤（住環境）について	0.90	1.96
	生活安全について	0.71	2.16
	都市基盤（交通）について	0.36	1.84
	自転車の利用促進について	0.32	1.48
経済	農業について	0.74	1.75
	商業について	0.39	1.63
	工業について	0.88	1.39
	観光について	0.99	1.41
	都市基盤（市街地）について	0.76	1.44
きずな	防災・減災について	1.04	2.22
	地域福祉について	1.01	1.72
	障害福祉について	0.96	1.88
	社会保障について	0.99	1.70
	生涯学習について	1.25	1.48
	文化・芸術について	1.12	1.19
	参加と協働について	0.81	1.08
	地域自治（コミュニティ）について	0.71	1.13
こども	子育てについて	0.89	2.20
	ひとり親家庭福祉について	0.83	1.86
	学校教育について	1.09	2.06
行財政運営について		0.83	1.60